

優秀賞（朝日新聞社賞） 特定非営利活動法人 Nest

代表者 石川 章（子育て分野／下関市）

活動の動機・目的

代表者は大学卒業後、自宅で学習塾を開業して様々な子どもたちに出会った。不登校や自殺行動、家出、虐待を受けている子、いじめ、そこでの体験をきっかけに1996年、「フリースクール下関」を下関市竹崎町からスタートし、2004年には同市生野町にも活動拠点を広げ、さらに幅広い活動を展開するに当たり、2007年11月に特定非営利活動法人 Nest（ネスト）となった。

Nestには「巣」という意味の他に「居心地のいい場所」という意味がある。不登校・ひきこもり状態の青少年等に対し、自由・自治・個の尊重を理念とした安全で安心な居場所の提供とともに主体的な生き方の確立と自立のための支援事業を本人や家族等に行う。同時に、地域社会においても、不登校・ひきこもりの早期回復や未然防止につながり、さらにはあらゆる子どもたちが将来への希望を抱き、健全な育ちができる、より良き世間の再生に寄与することを目的としている。



活動の内容

①フリースクール下関

不登校・ひきこもり状態にあるこどもや青年たちが自分自身を肯定することができる居場所の提供。原則として年齢制限はなく、小学生から大人まで利用者は1日十数人のフリースクール。火・木はボランティアスタッフが来るが、個別対応できるように毎日開所し居場所を設けている。また義務教育期間内であれば、フリースクール利用日は学校への出席扱いになる。



②本人や家族に対する相談・訪問サポート活動を24時間体制で行う。

また家族支援としての例会やお母さんの会もそれぞれ毎月1回開催。不登校・ひきこもりの他、親子関係の問題、自殺願望、家庭内暴力など、相談内容は多岐にわたる。

③教育委員会・学校・児童相談所・保健所等の公的機関他、関連機関とも連携して支援活動を展開。

④講演会・サポート養成講座

不登校・ひきこもりへの理解を広く、また深めるための講演会や今年で15年目となったサポート養成講座は、当事者の心理状態や行動の理由、またそれに対する援助の仕方、関わり方について具体的に伝える内容で開催している。保護者はもちろん、支援者（教師・スクールカウンセラー・相談員・医師・民生委員・学生他）等これまでの受講者数は延べ2000名近くに及ぶ。

⑤平成28年度より、下関市委託事業として、週に1回、生活困窮世帯の子どもたちに対する学習支援事業も行っている。学習指導は有償ボランティアとして、スタッフや学生が対応。月に1回は、フードバンク山口等からの援助を受けて昼食交流会を実施。

これからめざしたいこと

最初は無表情でやってくる子どもたちが、自己肯定感を回復させて少しずつ変化していく。そして、自分の進む道を見つけて力強く踏み出していく。そんな子どもたちの姿をそばで見ることのできる幸せを感じながらも、本当は、こういう場所が無くなることを願っている。しかし油断すると、子どもだけでなく大人も孤独になってしまう今の時代。そんな時、誰かが声をかけてくれる人間関係が活発になる世の中になってほしい。みんな誰もが希望を持ち、夢を描き、自分らしく生きていきたい気持ちを持っているはず。それぞれを認め合える居場所がここだけでなく、あちこちに点在するようになるといいと思う。そんな思いをもちながらここを継続していきたい。